雨水利用の提案

2024年10月
株式会社トーテツプラス

目次

1. 雨水利用のすすめ
2. 雨水利用の基本的フロー
3. 雨水分流除塵器
4. 雨水利用4点セット

1.　雨水利用のすすめ

◆雨水は、流せば洪水、貯めれば資源

雨水は、適切に管理することで、私たちの生活を豊かにする貴重な資源となります

◆Life line からLife spot の時代へ

災害時、自力で乗り越えられる拠点を確立していきましょう

◆フェーズフリーな利用を

災害時だけでなく、日常は庭の水やり、打ち水、洗車、サーフボードや
農業・土木器具、農業用水、冷却用水、トイレの流し水、ビオトープなどに
使用できます　また、集中豪雨警報時に事前にタンク内を空にし、雨水を
タンク内に貯留させることにより、流出抑制に貢献できます。1000ℓ(1t)
のタンクを100人の方が使用すれば100ｔの大規模流出抑制槽に匹敵します。

◆できるだけ綺麗な状態で雨水を貯留

弊社の分流除塵器を使用して、できるだけ綺麗な状態での
雨水貯留を提案します

2.　雨水利用の基本的なフロー

屋根

屋根を集水面とし、
縦樋を使って雨水を集水

竪樋

貯水槽

レインポスト

送水ポンプ

P

雨水分流除塵器
ぶんりゅうⅠ型or Ⅱ型

レインボックス
1000ℓ
（雨水タンク）

レインポスト
（雨水栓）

3.　雨水分流除塵器（ぶんりゅうⅠ型・ぶんりゅうⅡ型について）

～振り始めの雨は捨てましょう（初期雨水カット）～

利用する雨水は屋根面からの集水を基本としますが、屋根面には土埃や排気ガスによる煤塵、粉塵、落ち葉などが堆積、また降り始めの雨には大気汚染物質が溶け込んでいます。

除塵器の役割を果す「**ぶんりゅうⅠ型**」及び「**ぶんりゅうⅡ型**」を使用することで、
降り始めの汚れた雨水を捨て、塵埃を取り除き、タンク内の堆積物発生、臭気発生を防ぎます。
point

【ぶんりゅうⅠ型　or　ぶんりゅうⅡ型 🤔 ？】

ぶんりゅうⅠ型：縦樋から雨水をタンクに直線で導くシンプルなタイプ
ぶんりゅうⅡ型：自然の水圧を利用して縦樋から離れたところにも送水可能

※詳しくはカタログをご覧ください

4.　雨水利用4点セット

人が一日に使用する水の量は平均約２００ℓ程度。
災害時に例えば４人家族が雑用水として使用する水量を1,000ℓ確保できると安心です。

ぶんりゅうⅠ型

ぶんりゅうⅡ型

レインボックス

貯水量1000ℓ（1t）64kg（空時）
ポリエチレン製（パレット付）
（W1,000×D1,200×H1,160）

送水ポンプ

川本ポンプのカワエース
（130W）
空運転防止付

※電気を使用しない手押しポンプにすることも可能です

レインポスト

雨水専用栓　4.7kg
誤飲防止シール付

※水道水の栓との違いをはっきりさせるためレインポストをご用意しておりますが、他の散水栓でも問題ありません。

ぶんりゅう・レインボックス 設置例

ぶんりゅうI使用例

ぶんりゅうII使
もっと離れても大丈夫

架台との併用:
排出バルブの下にバケツなどが入る高さになる

連結可能：最大連結数20台

こんな小さな屋根面からでも十分集水可能
これはブドウ棚

補助水源として